

教育現場からの報告——2021年度を振り返って

幼稚園

神さまのおまもりの中で
石垣 李沙

幼稚園教諭



今年度も、新型コロナウイルス感染症の拡大により、園児の安全を考え、保育内容を工夫することや、様々な行事を縮小することを決断せざるを得ない状況がありました。先の見えない毎日の中でも祈り求め続け、私たちにできることは何かと考え、神さまに知恵をいただいて歩んだ1年でした。

幼稚園では毎朝、子どもたちが登園する前に教職員全員が揃い、祈ることから1日が始まります。園長、教員、事務職員、養護教諭と保育現場での役割は異なりますが、神さまに仕える者として、“幼稚園の子どもたちのために”、という想いは皆同じです。

困難に思える状況の中であつても、祈りの中で神さまの応えを待ち、聖霊の働きに気付くことができる私たちがでありたいと願います。

これからも神さまの愛の中で生きる安心と喜びを子どもたちと分かち合い、祈りの力に励まされて、慰められて、強められて、毎日を歩んでまいります。